



【 30年経っても引き継がれる 】

○ 昨日、児童向けステージ発表会がありました。どの学年も短い期間で、よくここまで出来上がったと感心しました。

○ その中で、私が感じたことの中の一つです。2年生の表現「**ずいせんじものごとり ~いなみのステキ見つけたよ~**」

の表現の中で、昔、瑞泉寺が火事で焼け、「水吹きの龍」の登場で消火する場面がありました。



○ この場面を見て、平成6年度、私が4年生を担当していたとき、学習発表会で「水」というテーマで発表していたときのことが蘇りました。そのときは、水の大切さを打ち出すものでした。そして、瑞泉寺が火事になり、水吹きの龍が出てきて、龍の口から出た水で、火事になった瑞泉寺の火を消すのを表現しました。まさに、**今年の2年生の場面と同じ、「瑞泉寺の火事」「水吹きの龍の消火」を題材**としたものです。

○ 「瑞泉寺」「水吹きの龍」は、井波の特色です。ストーリーは違っても、発表学年は違っても、井波の特色は何十年経っても、日頃の授業で学習し、学習発表会で**表現するに値するものなのだ、引き継がれるものなのだ**と感じました。同時に、当時の私の担任した子供たちや、当時の井波小学校の学習発表会を懐かしく思い出していました。

○ また、2年生は「**木彫り音頭**」を踊りました。この「木彫り音頭」も、私が以前に井波小学校に勤務した時、運動会で何回も練習し、私自身懐かしい踊りです。この「木彫り音頭」も、時代が変わっ



ても、**永遠に井波の中で引き継がれるもの**だと実感しました。

○ 私は、学習発表会は「**日頃の学習の成果を思い切って表現する場**」と捉えています。この学習や表現活動の中に、「瑞泉寺」「水吹きの龍」「木彫り音頭」等、ずっと引き継がれる井波の価値あるものを忘れないようにしたいものです。